

保護者の皆様、地域の皆様

港区立赤羽幼稚園
園長 中村 美奈子

令和6年度 港区立赤羽幼稚園 幼稚園評価の集計結果及び改善の方向性について

日頃より本園の教育活動にご理解、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。また、12月の「幼稚園評価アンケート」にご回答いただきましてありがとうございました。

アンケートの集計結果と自由意見、1月30日に実施いたしました学校運営協議会において委員の皆様からいただいたご意見をもとに、赤羽幼稚園の今後の取組についてまとめましたので、ご報告いたします。

【学校運営協議会・保護者への「幼稚園評価アンケート」項目】

評価基準 A：達成している B：概ね達成している C：あまり達成していない D：達成していない E：分からない	
1	幼稚園は、経営計画、経営方針を分かりやすく伝えている。
2	園だより、学級だよりなどの各種便り、Xやホームページなどの情報で教育の内容や幼児の様子を分かりやすく伝えている。
3	電話をかけたときや幼稚園を訪問した際の教職員の対応が丁寧である。
4	教職員は、PTAや地域の活動に協力的である。
5	幼稚園は、PTA活動や保護者の活動の場を大切にしている。
6	保護者や地域の協力を得て幼児が感動する体験を積み重ねている。(赤羽こどもまつり、季節の行事－こどもの日、七夕、お月見、もちつきなど)
7	近隣保育園や地域の小学校や中学校の児童・生徒との交流や施設の活用を積極的に進め、小学校以降の生活や学習につながる教育を推進している。(赤羽小学校の児童との交流、施設利用、行事の参観、芝小学校訪問、三田中学校訪問など)
8	子育て支援のための未就園児の活動に積極的に取り組んでいる。(未就園児の会「ひよっこ」、園見学、体験入園など)
9	幼児が自分から人や物などの環境に関わり、様々な体験を通して学ぶ「遊び」を大切にした教育を推進している。
10	幼児の人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にした学級づくりをしている。
11	幼児が十分に体を動かして満足感を得られるような体験ができるようにしている。(園庭、ピロティ、併設小学校の屋上校庭・体育館当の利用、かけっこ教室、徒歩遠足など)
12	集団生活におけるきまりや道徳性の芽生えを身に付ける教育を推進している。(毎日の挨拶・日々の生活・剣道教室など)
13	幼児が生き物や植物等の自然と関わる活動を充実させている。(生き物の世話、虫などの採集・飼育、季節の栽培活動、収穫・自然物を活用した遊びや製作、ビオトープや畑の利用など)
14	小学校への就学を見通した教育内容として、聞くこと、話すこと、友達との関わり等を大切にした教育をしている。
15	異年齢の育ち合いや関わり合いを大切にした教育を進めている。
16	様々な行事の中で、幼児が楽しんで活動する姿やその成長が感じられる。(誕生会、赤羽こどもまつり、運動会、発表会、季節の行事、ミニコンサート、太鼓の会、剣道教室など)
17	園内研究・研修、保幼小合同研修会や三田アカデミーの研修会等を実施し、その成果を保育の充実に反映している。(園内研究テーマ「幼児の豊かな人間性を育むための指導の工夫～異年齢の関わりをとおして～」)
18	幼稚園内や園庭の清掃など環境整備が行きとどいている。
19	施設・設備の安全、維持管理のための点検や整備を計画的かつ適切に行っている。(月1回の安全点検、遊具の安全点検、修繕、樹木の剪定など)

20	幼児が安全に生活できるよう、安全指導、避難訓練、不審者対応等、安全・防災・防犯に関する取組を十分に行っている。(月1回・随時の安全指導、月1回の避難訓練など)
21	太鼓の会や剣道教室、ネイティブティーチャーの活動等、特色ある教育活動を推進している。

【園児への「幼稚園評価アンケート」項目 ※聞き取りにより集計】

1	幼稚園は好きですか
2	さくら組／ゆり組と一緒に遊ぶことは楽しいですか。
3	さくら組／ゆり組と何をして遊ぶのが楽しいですか。
4	先生にお願いしたいことや伝えておきたいことはありますか。

【学校運営協議会委員（全11名）による「幼稚園評価アンケート」集計結果の概要】

全21項目中、

○肯定的な評価（A評価・B評価の合計）が10名以上の項目…全21項目

○2名以上の方からB評価をいただいた項目…1項目（12）

○E評価(分からない)があった項目…7項目（1）（3）（4）（8）（17）（18）（19）

学校運営協議会委員の皆様からは、概ね高い評価をいただきました。

○2名以上からB評価をいただいた項目（12）は集団生活におけるきまりや道徳性の芽生えに関する内容でした。今年度より、昨年度までの評議員会から学校運営委員会となり、子どもたちと委員の方との直接的な関わりや幼稚園からの発信が少なかったことにより、子どもたちの日々の姿が伝わりにくかったと思います。園からの発信を増やし、委員の皆様にも園に足をお運びいただき、子どもたちの日頃の様子を見ていただく機会を設けていきたいと思っています。

○E評価をいただいた項目（1）（3）（4）（8）（17）（18）（19）については、以下のとおりです。

- ・幼稚園運営に関する項目（1）（3）（4）（8）については、情報発信に努め、園の活動に関心をもって見ていただけるようにしていくことが必要だと分析します。
- ・安心・安全に関する項目（17）（18）（19）については、園にお越しいただいた時に、心地よさや安心感をもっていただける環境づくりに努めるとともに、日常の安全点検や指導についての発信をすること、また工事・修繕の経過をお伝えすることにより、安全面についても知っていただけるようにしてまいります。

【保護者（27名）による「幼稚園評価アンケート」集計結果の概要】

全21項目中、

○肯定的な評価（A評価・B評価の合計）が95%以上の項目…21項目

○E評価(分からない)があった項目…4項目（8）（15）（17）（19）

保護者の皆様からは、概ね高い評価をいただきました。

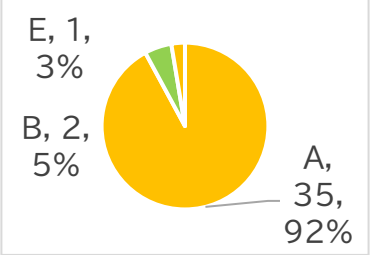
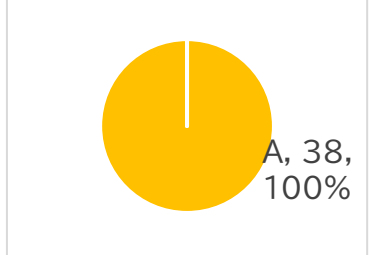
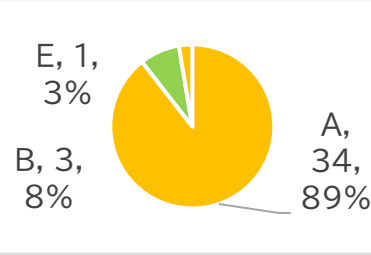
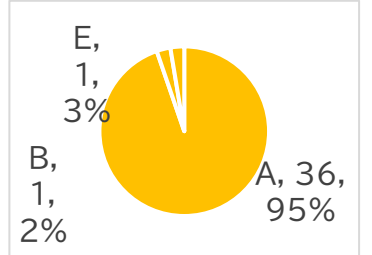
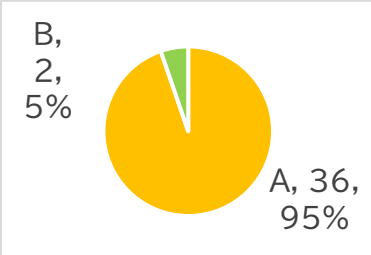
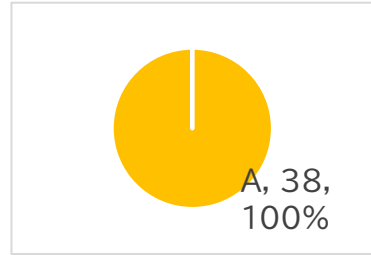
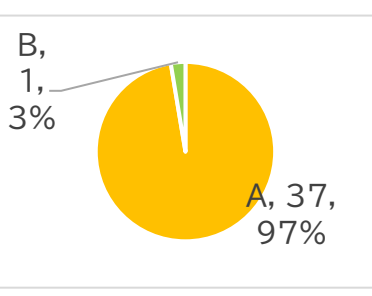
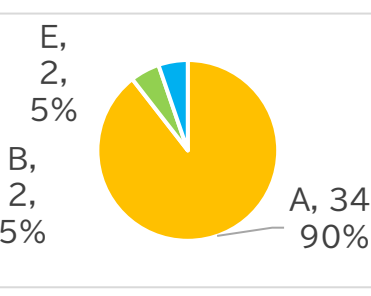
○特に項目（2）（4）（6）（16）（21）から、行事や特色ある活動の中で、子どもたちが心を動かしながら様々な体験活動に取り組んでいる姿を評価していただいたと捉えます。

○E評価があった項目について

- ・（8）（19）については、直接の関わりによる活動の様子や幼児の姿、施設について目にしたり、意識的に見たりすることがなかった内容であると分析します。保護者会等の機会や園だより、Xなどを通して発信し、お知らせしていく必要があると考えます。
- ・（15）（17）については、今年度の研究の重点としてきた異年齢の関わりについての内容です。年長児と年少児の交流、保育園児や小中学生との交流等について、具体的に活動内容や成果が伝わらなかったことがうかがえます。また、教員の研修・研究を通して、指導方法や環境構成などの工夫や改善につなげ、子どもたちの姿が変わっていくことについての発信が未だ足りていないことが要因と考えます。

【学校関係者評価（学校運営協議会・保護者 合計38名）の集計結果と分析】

I 幼稚園運営について

(1) 幼稚園は、経営計画、経営方針を分かりやすく伝えている。	(2) 園だより、学級だよりなどの各種便り、Xやホームページなどの情報で教育の内容や幼児の様子を分かりやすく伝えている。	(3) 電話をかけたときや幼稚園を訪問した際の教職員の対応が丁寧である。
		
(4) 教職員は、PTAや地域の活動に協力的である。	(5) 幼稚園は、PTA活動や保護者の活動の場を大切にしている。	(6) 保護者や地域の協力を得て幼児が感動する体験を積み重ねている。(赤羽こどもまつり、季節の行事-こどもの日、七夕、お月見、もちつきなど)
		
(7) 近隣保育園や地域の小学校や中学校の児童・生徒との交流や施設の活用を積極的に進め、小学校以降の生活や学習につながる教育を推進している。(赤羽小学校の児童との交流、施設利用、行事の参観、芝小学校訪問、三田中学校訪問など)	(8) 子育て支援のための未就園児の活動に積極的に取り組んでいる。(未就園児の会「ひよっこ」、園児学、体験入園など)	
		

- ・ 8項目全てにおいて概ねA・B評価をいただきました。
- ・ E評価が8項目中4項目(1)(3)(4)(8)において見られました。

○幼稚園の経営計画、経営方針に関する項目(1)は、主に学期ごとの保護者会や学校運営委員会等にてお伝えしておりますが、その具体的な活動や子どもたちの姿について、様々な場や媒体(保護者会、幼稚園説明会、学校運営協議会、X、ブログ等)において情報発信に努め、幼稚園の教育活動にご理解をいただけるようにしていきます。(2)においては、高評価をいただきましたので、引き続き、Xやブログ、園だより、学級だより、ドキュメンテーションなどでの発信を続けてまいります。

8項目中半数においてE評価が付きましたことについては、幼稚園の活動において未だ見えにくい部分あるということを自覚し、その活動に関わらない方にとっても、園の活動や教職員の思いが見える、感じられる幼稚園を目指してまいります。

○項目(6)幼児が感動する体験を積み重ねていることについて、高評価をいただきました。地域、保護者の皆様のご協力のおかげさまで、子どもたちが心を動かす体験を重ねることができました。子どもたちにとって赤羽幼稚園が「明日も来たい幼稚園」であり、「今日も楽しかった」と一日一日感じられる場となるように尽力していきます。

Ⅱ 教育内容・指導について

(9) 幼児が自分から人や物などの環境に関わり、様々な体験を通して学ぶ「遊び」を大切にした教育を推進している。	(10) 幼児の人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切に学級づくりをしている。	(11) 幼児が十分に体を動かして満足感を得られるような体験ができるようにしている。(園庭、ピロティ、併設小学校の屋上校庭・体育館当の利用、かけっこ教室、徒歩遠足など)
(12) 集団生活におけるきまりや道徳性の芽生えを身に付ける教育を推進している。(毎日の挨拶・日々の生活・剣道教室など)	(13) 幼児が生き物や植物等の自然と関わる活動を充実させている。(生き物の世話、虫などの採集・飼育、季節の栽培活動、収穫・自然物を活用した遊びや製作、ビオトープや畑の利用など)	(14) 小学校への就学を見通した教育内容として、聞くこと、話すこと、友達との関わり等を大切にしている。
(15) 異年齢の育ち合いや関わり合いを大切にしている。	(16) 様々な行事の中で、幼児が楽しんで活動する姿やその成長が感じられる。(誕生会、赤羽こどもまつり、運動会、発表会、季節の行事、ミニコンサート、太鼓の会、剣道教室など)	(17) 園内研究・研修、保幼小合同研修会や三田アカデミーの研修会等を実施し、その成果を保育の充実に反映している。(園内研究テーマ「幼児の豊かな人間性を育むための指導の工夫～異年齢の関わりをとらえて～」)

- ・9項目中8項目において、高い評価をいただきました。
- ・項目(17)は、B評価が16%、E評価が5%と、他の項目に比べ評価が低い結果となりました。

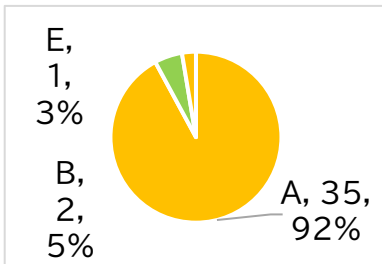
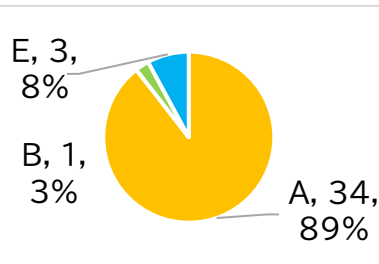
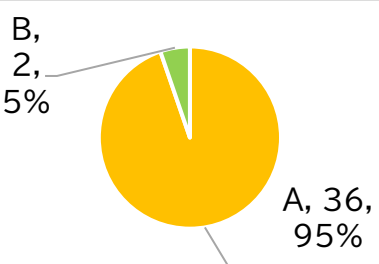
○教育内容・指導については、全体的に高評価をいただきました。

- ・項目(11)(16)については、発表の場等において活動の成果を見ていただき、子どもたちの表情や言動から、楽しんで活動に取り組んできたことを評価していただいたと捉えます。
- ・項目(9)(12)は、幼児教育で常に大切にしていることであり、高い評価をいただけたことに大変感謝いたします。公立幼稚園の「遊び」を大切にしている教育は、発表の場などで目に見える成果だけではなく、取り組む過程の中での子どもたちの学びや成長が見える化し、より子どもたちの成長の姿が見える工夫をまいります。

○項目（１７）については、研修・研究の内容や、それに伴う保育の改善や子どもたちの変容等について、不透明な部分が多いことが考えられます。今年度は、園だよりのコラムを園内研究（異年齢の関わり）に関係する内容にしていまいりましたが、研修や研究の過程や成果（子どもたちの変容）としては伝わりにくかったと考えます。今後も研究や研修の取り組みや教師の学び、子どもたちの変容等について、様々な場面で、様々な媒体を通して、分かりやすい発信をしていけるようにしていきます。

○項目（１５）の異年齢の関わりについては、今年度の園内研究で重点をおいた内容です。赤羽幼稚園の少人数でアットホームな環境を生かし、行事等の意図的な活動だけでなく、日常の遊びの中での関わりを深め、異年齢の関わりの中で子どもたちが成長していくことをねらい、保育の工夫や改善をしてまいりました。園庭での出会いや日常の中で互いに目を向けられるよう、遊びや生活の場や時間を調整したり、自然な関わりが生まれるような遊びのきっかけとなる環境を用意したりし、年長児と年少児それぞれに思いやりや憧れの気持ちを育むことを積み重ねてきました。また小学生・中学生・保育園児との交流活動を積み重ね、親しみの気持ちや憧れの気持ち、互いに力を合わせたり、良い面を知り、認め合ったりする経験ができるようにしてきました。様々な活動の中で子どもたちの姿を知っていただける機会を作っていきたいと思ひます。

Ⅲ 安全・安心について

(18) 幼稚園内や園庭の清掃など環境整備が行きとどいている。	(19) 施設・設備の安全、維持管理のための点検や整備を計画的かつ適切に行っている。(月1回の安全点検、遊具の安全点検、修繕、樹木の剪定など)	(20) 幼児が安全に生活できるよう、安全指導、避難訓練、不審者対応等、安全・防災・防犯に関する取組を十分に行っている。(月1回・随時の安全指導、月1回の避難訓練など)
 A, 35, 92% B, 2, 5% E, 1, 3%	 A, 34, 89% B, 1, 3% E, 3, 8%	 A, 36, 95% B, 2, 5%

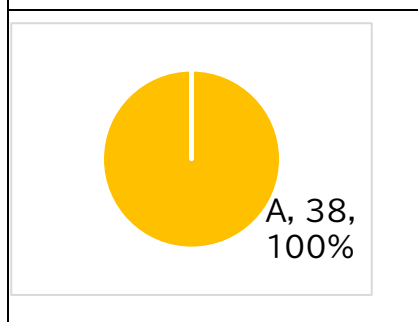
・全体的に高評価をいただいたものの、項目（１８）（１９）はE評価がありました。

○令和5年度の移転から2年を終えようとしている現在、園舎の使い方が教職員も子どもも分かり、環境を工夫しながら園生活を進められるようになりました。夏季の豪雨による浸水で、園舎内外の修繕・工事が必要な状態ではありますが、少しずつ改善に向かっていきます。修繕・工事による改善の状況は、随時お知らせしてまいります。

○いつも安全な幼稚園であるように、子どもたちが自分の身は自分で守る意識を高め、様々な想定における訓練や安全指導を積み重ねてまいります。

Ⅳ その他

(21) 太鼓の会や剣道教室、ネイティブティーチャーの活動等、特色ある教育活動を推進している。



○太鼓の会や剣道教室は、継続して行うことにより、技術面だけでなく、礼儀作法や立ち居振る舞い、挨拶などについても子どもたちの変容が見られます。今後も継続して実施するとともに、講師の指導にとどまらず、日々の生活の中でも取り組めるようにしていきます。

○今年度から始まったネイティブティーチャーの配置により、子どもたちが英語やネイティブティーチャーに親しみをもち、積極的に関わる姿が見られるようになりました。生活の中で自然に英語に触れることと、みんなで楽しく活動する中で英語に触れることなど、今後もネイティブティーチャーと連携し、子どもたちの国際理解の意識の芽生えを培ってまいります。

【学校運営協議会委員による自由意見】

- 借園舎の生活だが、環境の工夫や豊かな活動体験を通して子どもたちがとても元気に生活する様子が見える。あと2年間、工夫・改善を繰り返しながら園生活を充実して過ごしてほしい。
- 玄関前のピロティはとても広いため、幼稚園ならではの活動の工夫をし、新園舎3歳児保育のできる2年後まで幼児教育のアピールの場として活用してほしい。
- Wifiを入りやすくしてほしい。
- 子どもたちが元気で楽しそう。いろいろ興味をもっていることが素晴らしい。
- 小学校との交流やNTとの活動も素晴らしいと思う。
- 項目(19)は水漏れの件が残っているためE評価を付けた。
- 小さい時に動物や植物と触れ合い、その大切さを感じ取ってもらえるのは良いこと。続けていってほしい。

【園児への「幼稚園評価アンケート」集計結果の概要】

	質問内容	さくら組		ゆり組		合 計
		はい	いいえ	はい	いいえ	
1	幼稚園は好きですか	13	0	13	0	26
2	さくら組／ゆり組と一緒に遊ぶことは楽しいですか。	13	0	13	0	26
3	さくら組／ゆり組と何をして遊ぶのが楽しいですか。	別途記載				
4	先生にお願いしたいことや伝えておきたいことはありますか。	別途記載				

※長期欠席や併用通園直後の幼児は除く(さくら組)

3 さくら組／ゆり組と一緒に何をして遊ぶのが楽しいですか。

<さくら組 ※副園長による聞き取り> ・縄跳び ・鬼ごっこ ・バスケットボール ・サッカー ・かくれんぼ ・すべり台 ・鉄棒 ・ブロック ・積み木	<ゆり組 ※副園長による聞き取り> ・色鬼 ・かくれんぼ(4) ・リレー ・ボール ・芋掘り ・積み木 ・アイロンビーズ (サポート保育時) ・サッカー ・おいかけっこ (3) ・砂場 ・羽子板
--	--

4 先生にお願いしたいことや伝えておきたいことはありますか。

<さくら組 ※副園長による聞き取り> ・いろんなお話がしたい。 ・先生と鬼ごっこがしたい。 ・風船で遊びたい。 ・特になし、分からない。	<ゆり組 ※副園長による聞き取り> ・もっと幼稚園で遊びたい。 ・ずっと幼稚園にいたい。 ・サッカーができる広い場所が欲しい。 ・鬼ごっこをする大きい場所があるといい。 ・先生ともっともっと遊びたい。 ・芋掘りが楽しかった。
--	--

○今年度の研究内容である「異年齢の関わり」についてアンケートをとりました。

3 何をして遊ぶのが楽しいかという質問に対して、園庭での遊びを挙げた幼児がほとんどでした。この結果から、今年度、特に園庭での出会いに着目して異年齢の関わりをもてるようにしていくという保育のねらいが、幼児の思いに表れたと分析します。一緒に遊ぶ姿が多く見られ、幼児の感想に表れたことは、園庭で異年齢の関わりの中での遊びが展開された事実として評価できます。一方で、幼児が印象に残る遊びの内容については、一部に留まったように思われます。また、関わりの中で芽生えた幼児の思いや、幼児同士の関係の深まりについては、今年度の研究の成果としてさらに分析し、来年度の環境構成や教師の援助につなげていく必要があると考えます。

【学校運営協議会での協議内容と今後の教育活動について】

今年度より、学校評議員会から学校運営協議会に変わり、幼稚園評価をしていただく委員も変わりました。そのため、これまで幼稚園教育に直接ご協力いただいていた方に加え、地域で間接的に見守っていただいていた方にも直接幼稚園評価をしていただくこととなりました。概ね高い評価をいただきましたが、学校運営協議会の委員の皆様および保護者の皆様に対して、幼稚園教育をより具体的に、分かりやすく情報発信していくことの必要性が表れた評価結果となりました。

○幼稚園の情報発信について

項目（１）（２）の評価は高い一方で、項目（１５）（１７）のように、今年度意識して取り組んできたことについてB評価やE評価がついてしまうのは、伝える中身が不足しているからであるとご指摘をいただきました。実施したことだけでなく、教育活動の中での「子どもの変容」が伝わるような情報発信となるよう、工夫してまいります。

○保護者の協力や啓発について

項目（１２）のような、規範意識や道徳性については、園で行うだけではなく、家庭と一緒にやっていくことであるというご意見がありました。子どもたちの実態や園での指導、家庭での子どもたちの様子を共有し、家庭と幼稚園が同じ方向を向いて子どもたちと向き合っていくことができるようにしてまいります。

○（１７）の評価について

園内研究等、研究・研修の成果はすぐに表れるものではないため、保護者、地域の皆様には、長い目で子どもたちの成長を見ていただけるようにしていくとよいのではないかとご意見をいただきました。教員の研究や研修での学びは、日々積み重ねていくもので、成果（子どもの変容等）についてはすぐに目に見えるものではないことである一方で、研修の経過を報告していく必要についてもご意見をいただきました。日々の教育活動を事実や結果だけでなく、「幼児にこのようになってほしいから／このような子どもたちを育てたいから、今このような取り組みや指導を行っている」と保育のねらい、教師の願いをしっかりと打ち出し、子どもたちのその都度の姿について発信してまいります。

○子どもアンケートの結果について

子どもたちが園生活を楽しんでいることは、アンケート結果が物語っていること、異年齢の幼児同士が遊びの中で関わり合う姿が見られることなど、肯定的な感想をいただきました。子どもたちの「これがしたい」という気持ちを把握し受け止め、子どもたち一人ひとりの発達に合わせた保育の環境づくりや援助の工夫に、次年度も引き続き取り組んでまいります。

○保護者の自由意見の登園時間について

園として、８時４５分から８時５５分までの１０分間での登園時間のお願いをしていることについて、保護者の仕事のスタイルの変化や家庭による生活サイクルが様々であることを踏まえた上で、登園が遅れると遊びに加わりにくいのではないかとご意見がありました。毎日決まった時間に幼稚園に来ることで、友達と同じ時間に来て一日の生活をスタートすることができる、自分のしたい遊びにじっくり取り組めることで安心して生活を送ることができると思います。子どもたちの安心・安全な園生活のために、登園時間についてご理解をいただければと思います。

○保育の中での介助員の動きについて

教員と介助員は、保育の計画や子どもたちの実態に応じて、保育の中での援助の仕方や動きについて日々共有して子どもたちに接しています。介助員が全体から外れているように見えてしまったことについては、園としての保育のねらいが伝わらなかった結果であると考えます。子どもたちが自分たちで生活を進めていくために、また、大人の存在が主になりすぎないように等、日々の子どもたちの実態や保育のねらい、状況等に応じて教員と介助員が働いていることにご理解をいただきたいと思います。疑問や不安等が生じた時には、お気軽に教職員にお知らせいただけるように、相談、声掛けしやすい雰囲気や状況づくりを心掛けてまいります。

